なら	粉2 一 A (1)	年	
	漢字の書き	組	
しゅう		番 名 前	

教は

次の文の中の ――― を引いたひらがなを漢字でできる。一年生で習った漢字の書きをふく習しましょう。 を引いたひらがなを漢字で書きましょう。

いちねんせいと、 いっしょにあそぶ。

おとこのこと、 おんなのこ。

なつやすみがおわって、 がっこうがはじまる。

まちたんけんに、 でかける。

いぬといっしょに、 もりのなかをさんぽする。

くさばなの、 かんさつをする。

あしたのてんきは、 あめだろう。

うみのみずは、 しょっぱい。

1 (
・おうさまが、きれいなたまをもっている。
・しろいいとを、ひゃくえんでかった。
・あおいえんぴつをよんほんかう。

・どようびに、かわへさかなつりにいく。

\bigcirc	教き	
次ぎ一年	材 th	
文の生		
次の文の中の一年生で習った。	教材2 A (3)	左
の - た - た	(3)	年
漢 字	漢 かん	
ーの書	漢字 の書き	組
を引います	書き	
たるく	_	番
ひら習り		
の文の中の ——— を引いたひらがなを漢字で書きましょう。年生で習った漢字の書きをふく 習 しましょう。		名 前
をしょ		
学う。		
書		
きま		
L F		
う。		

にもつをもちあげるのには、ちからがいる。

とんぼがたけざおのさきに、とまっている。

めざましどけいが、ろくじになる。

ゆうやけで、そらがあかい。

ちいさなかいがらを、みつけた。

でんしゃにのって、 りょこうにしゅっぱつ。

おんどくのれんしゅうで、じっかいよむ。

ていねいなじで、さくぶんをかく。

\bigcirc	教 ^き 5	
次ぎ一	教材2 A (4)	
文生で		
次の文の中の一年生で習った	A	年
の ト 満	(4)	+
字 字	漢がん	ν Π
· の を書	漢字 の書き	組
引いきを	き	
たくい		番
の文の中の ——— を引いたひらがなを漢字で書きましょう。年生で習った漢字の書きをふく 習 しましょう。		名前
なまた		月山
漢字		
ナでき		
書き		
まし		
よう		

くちをおおきくあけて、うたをうたう。

ともだちは、

きのぼりめいじん。

- ほんをななさつかって、ごせんえんをはらう。
- くつをにそく、プレゼントした。
- きゅうにんのともだちと、てつなぎおにをした。
- ・はやしをぬけて、むらにいく。
- ・はちまいのきんかを、てにいれた。
- みみをすまして、むしのなきごえをきく。

次の文の中の上	〇 一年生で習った	教材2 — A—(5)	年
―― を引いたひる	年生で習った漢字の書きをふく習しましょう。	漢字の書き	組 番
を引いたひらがなを漢字で書きましょう。	百しましょう。		名前

- ごがついつかは、こどものひ。
- ・はやおきをして、たうえをする。
- 「さんびきのこぶた」のおはなしをきく。
- ・たちあがって、はなびをみる。
- ・ただしいかんじを、まなぶ。
- だいしょうさまざまな、うみたてのたまご。
- ・なふだをさげて、えんそくにいく。
- にゅうがくしきで、せんせいとしゃしんをとる。